

校長だより 令和2年7月7日

島根県立大東高等学校
校長 田根 衛

その14

～ 大東高校の標石について ～



【1】 左の写真は正面入り口の標石です。1971年（昭和46年）の設置以来、約50年の歳月により校名プレートの片方が剥がれて少し浮いていました。臨時休業中にボルト固定の工事をしました。これであと50年は大丈夫です。後ろのプレートには次のように書かれています。

「昭和46年（1971年）3月 島根県立大東高等学校開校五十周年並びに校舎増改築竣工記念事業委員会（PTA、卒業生会）これを建つ

因みに 主石は阿用川明ヶ谷橋下より 添石は清田コッテガネ地内より運びしものなり」

地元の石を運んで建てられたものです。大東高校への思いが伝わってきます。

【2】 期末試験が終わり、1学期の学校行事も残すところあとわずかとなりました。そのうちのひとつ校内球技大会は「3つの密」を避けるため、今年度は学年ごとに実施します。

2年生が7月8日（水）、3年生が9日（木）、1年生は15日（水）、それぞれ午後到大東公園体育館で行います。



校名プレートをボルトで留めたことで、デザイン的にもヘビー・デューティ（耐久性向上）になりました。校名は小豆澤文三校長（当時）が揮毫したものです。



球技大会の種目はバレーと卓球です